

清流劇場・イプセン劇勉強会2019

“近代の落とし穴を どう跳び越えるか”

9/3[火] - 9/5[木]の3日間

※1回のみ参加も受け付けております



清流劇場・イプセン劇勉強会2019

第1回 9月3日(火)

イプセン中期のリアリズム問題劇

近代の矛盾——『人形の家』から『ヘッダ・ガブラー』へ

第2回 9月4日(水)

イプセン晩期の象徴主義劇

近代の克服——『棟梁ソルネス』から『私たち死んだものが目覚めたら』へ

第3回 9月5日(木)

『野がも』は悲劇か喜劇か

イプセンの謎——少女と〈野がも〉はなぜ死ぬか

講師：毛利 三彌

(成城大学名誉教授・イプセン研究/演出)

時間：19時～21時30分 (途中休憩あり)

料金：1回1,000円

対象：演劇経験不問

イプセン劇を学びたい方なら
どなたでも歓迎いたします。

お申し込み方法：参加ご希望の方は、

- ①お名前、②ご連絡先(電話番号・メールアドレス)、
③参加希望日を、下記、劇団メール宛にお知らせください。

※お申し込みされた方には確認のため、
info@seiryu-theater.jpより返信させていただきます
ので、事前にこちらのメールアドレスが受信できるように
設定しておいてください。

「近代演劇の父」と呼ばれるイプセン。日本の新劇もイプセン劇から始まったと言ってもいいでしょう。近代劇を読み解く上でも、現代劇のさらなる発展のためにも、イプセン劇を深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。イプセン研究の第一人者・毛利三彌先生も講師役を快諾してくださいました。貴重な機会です。どなた様もふるってご参加ください。

田中 孝弥

お申し込み締め切り日：各回実施の2日前

お問い合わせ・お申し込み

清流劇場 e-mail：info@seiryu-theater.jp

web：https://seiryu-theater.jp

企画・制作：清流劇場

協力：一心寺シアター倶楽

会場：一心寺 存牟堂

〒543-0062 大阪府大阪市天王寺区逢坂2-4-13

会場のお問い合わせ：一心寺シアター倶楽
06-6774-4002

※各線「天王寺駅」、Osaka Metro谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」、堺筋線「恵美須町駅」より、徒歩約10分。

※お客様用駐車場はございません。お車でお越しの場合は近くのコインパーキングをご利用ください。

